



あさ 朝になると明るくて、あか 夜になるとどうしてくらくなるの

たいよう ひかり 太陽の光があたる所とあたらない所ができる

ちきゅうじょう 地球上で、たいよう ひかり 太陽の光に照らされている所はひる 昼で、かげになっている所はよる 夜です。ちきゅう 地球は1日に1回、自在 自転しているの、いままでかげになっていた所にも、やがてたいよう ひかり 太陽の光があたるようになってあか 明るくなります。ひかり 光があたり始めたときがあさ 朝で、ひかり 光があたらなくなってきたときがゆうがた 夕方です。このようにして、ひる 昼とよる 夜が規則正しく、くり返されます。

ちきゅう 地球は1日に1回自在 自転している

ちきゅう まる 地球は、まるい形 球ををしています。そして、ちきゅう 地球は1日に1回、にし 西から ひがし 東に自在 自転(自分で回)をしています。自在 自転の軸は、ちきゅう 地球の ほっきょく 北極と なんきょく 南極をつらぬく、ほん 1本の軸になっています。これをちじく 地軸といひます。

ちじく 地軸は、ちきゅう 地球がこうてん 公転(太陽のまわりを回る)の道すじをつくるめん 面と、すいちよく 垂直ではなく、23.4度かたむいてひます。また、ちじく 地軸をのばした所、ほっきょくせい 北極星があります。

(監修・国司 真)

